

第5学年社会科学学習指導案

作成 練馬区立高松小学校

1 単元名 「自然を生かしたくらし」

2 単元の目標

- ◇日本の国土や気候条件の異なる地域の様子に関心をもち、自分の住んでいる地域や暮らし方と比べようとする。 【関心・意欲・態度】
- ◇自然環境と人々の生活や産業とのかかわりについて広い視野から考えることができる。 【思考・判断】
- ◇国土や地域の自然環境や暮らし方について写真や地図、統計などの資料を収集・選択し、新聞等にまとめることができる。 【技能・表現】
- ◇国土の自然の特色と自然環境に適応して暮らしている人々の工夫や願いがわかる。 【知識・理解】

3 小単元の観点別評価基準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の技能・表現	社会的事象における知識・理解
・パンフレットやインターネット等を活用し、地域の自然や特色について進んで調べようとしている。	・人々の生活の工夫や産業について自然環境や地域の特色とのかかわりから広く考えようとしている。	・国土や地域の自然環境や暮らし方について資料を収集しまとめて、新聞に表現することができる。	・国土の自然の特色と自然環境に適応して暮らしている人々の工夫や願いが分かる。

4 単元について

(1) エネルギー環境教育との関連

児童は、学年冒頭のオリエンテーションで日本の都道府県構成や国土全体の様子を概観している。また、以降は食糧生産や工業生産などの学習を通し、それぞれの産業のさかんな地域について調べ、国土の様子についてある程度の知識をもってきている。しかし、今までの学習は地域ごとの特色をとらえる学習であり、日本の国土全体をとらえ、それぞれの地域を比較するという学習は今回が初めてである。

本単元で地域の特色を明確にするためには写真や地図、グラフなどの資料を活用し、気候や自然環境の特色をイメージさせていく必要がある。また、自分たちの住んでいる地域と比べながら自然環境に適応して暮らしている人々の工夫や願いに気付かせ、それぞれの地域の暮らし方の違いを理解させていきたいと考えた。

エネルギー環境面では、沖縄県の伝統的な赤瓦屋根の家と現代的な鉄筋コンクリートの家との比較や、宗谷地方の寒さに備えた家の工夫を考えるなかで、自然環境に合わせたり取り入れたりする工夫とともに、電気エネルギーを活用した工夫をしている点に目を向けさせたいと考えた。また、厳しい自然環境をしのぐためにエネルギーを使う一方で、その自然環境を発電に生かしている知恵や工夫を知り、これからも続いていくエネルギー環境と人とのかかわりについて考えさせたい。

この後の単元では「森林と生きる」「自然とともに生きよう」など森林資源の保全や地域の自然環境との結び付きを考える学習に発展していく。そのためにも自分たちの生活の快適さを考えることだけでなく、自然環境を利用し工夫して生活している人々の知恵に気付かせていくことが大切であると考えた。

(2) 児童の実態

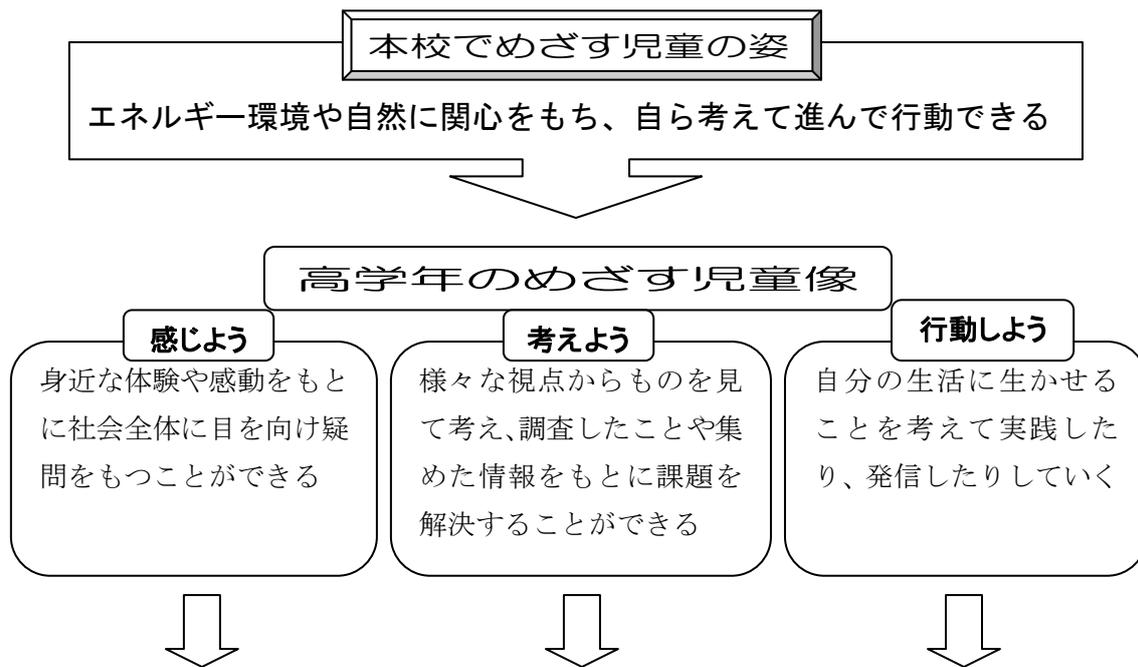
総合的な学習の時間の単元「守ろう、みんなの地球」では、エネルギーについての理解を深めた。また、地球温暖化の原因について知り、自分たちの生活はエネルギー消費で成り立っていることが分かった。そして、生活の仕方を工夫すれば、むだなエネルギーを減らしていけることを学びキッズ ISO14000 プログラムに取り組んできた。

社会科では、農業・水産業・工業の学習を通し、食糧生産や工業生産には必ずエネルギー消費がかかっていることや、わが国のエネルギー資源はほとんど輸入にたよっていることを学んでいる。

児童にとって、エネルギー資源が貴重なものであること、有限であるものという意識は高まってきている。しかし、自分たちの生活に目を向けると、ゴミの分別、電気の消灯など行動面での個人差はまだ大きい。まず、自分たちにできることを実践し、それが継続できるような姿勢を育てていく必要がある。

また、自然環境という点からは、武石移動教室で東京とは違う自然豊かな地域での生活を短期間ではあるが経験している。「緑豊かな場所では、空気がきれいに感じた」、「星がきれいに見えた」、「東京とは違い、朝夕はとてもひんやりした」など地域の違いによる気候の変化や自然豊かな地域のよさを感じた児童も多いと思われる。

5 目指す児童の姿と指導の工夫



本単元でめざす児童の姿と指導の工夫

<p>○国土の広がりと各地域の気候とその地方の人々の生活や産業などのかかわりに関心をもつことができる。</p> <p>○新しい生活面でのエネルギー環境面での変化に気付くことができる。</p> <p>《指導の工夫》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランドサット画像を利用し、宇宙から日本列島を眺め、関心をもたせる。 ・パソコンを使って電子メールやホームページを利用して、沖縄県や北海道宗谷地方の今を調べさせる。 ・エネルギー面からの暮らし方の変化を予想させ、クーラーや電気ヒーター、また新しい発電法を知らせる。 	<p>○国土や地域の自然環境と人々の生活や産業とのかかわりについて考えることができる。</p> <p>《指導の工夫》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自発的な学習を促すため、沖縄県や北海道のパンフレットやガイドブック等を集めさせる。 ・自分たちの地域と比べながら台風や雪の多い地方の住まい方の工夫を考えさせる。 ・地域の自然や気候を生かした暮らし方や産業の様子を予想させる。 ・様々な気象データをインターネットで調べ、南北による自然環境の違いをとらえさせる。 	<p>○日本各地や世界の国々の自然環境と人々の生活とのかかわりについて調べてまとめることができる。</p> <p>《指導の工夫》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたり、まとめたりする観点をしっかりとめたせる。(気候、服装、食べ物、家のづくり、産業、エネルギー環境等) ・インターネットやパンフレット、ガイド等から自分の調べたい地域の資料を収集させる。
---	---	---

6 単元の活動・評価計画 14時間扱い（本時 4・5）

時	学習内容・活動	指導上の留意点	評価
1	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国土の形、広がり、土地の様子を調べる。 ・国土が南と北に離れていることから、気候や生活の仕方の違いを予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地球儀や地図帳を活用し国土全体に広がりや周囲の国、環境に目を向けさせる。 ○ランドサット画像を使い、自然環境、土地の様子についても考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆日本は南北に長く周囲を海に囲まれた島国であることが分かる。 ☆日本の南北の地域について興味・関心をもつことができたか。
2 ・ 3	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道と沖縄それぞれの気候と土地の様子を調べ、自然条件の違いを比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○写真資料や気候グラフ、地図を活用し調べさせる。 ○南北を比べることにより気候や自然条件の特色が明確になるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆資料から地域の気候の特色を読み取ることができたか。
4 ・ 5 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・昔からある沖縄の家の工夫を考える。 ・新しい沖縄の家の工夫を考える。 ・自然や気候に合わせた人々のくらしの知恵に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○写真資料を活用し住まいの工夫を考えさせる。 ○昔からある家と新しい家の工夫を比べることで自然の上手な活用の仕方に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆気候に合わせて住まいの工夫をしていることに気付くことはできたか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・宗谷地方の家のつくりを調べる。 ・自然や気候に合わせた人々のくらしの知恵に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○写真資料を活用し住まいの工夫を考えさせる。 ○地域によるエネルギー消費の違いに目を向けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆気候に合わせて住まいの工夫をしていることに気付くことはできたか。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県と宗谷地方の農業について調べる。 ・農家の工夫や悩みについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○気候条件の違いに目を向けて農家の工夫や悩みに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆それぞれの地域の自然を生かした仕事の工夫や人々の悩みが分ったか。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県と宗谷地方の漁業について調べる。 ・漁師の努力や思いについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○海流や気候など自然条件の違いに目を向けさせ、漁師の努力に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆厳しい自然の中で漁業に携わる人々の思いを考えることができたか。

8	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県と宗谷地方の周りの国との結び付きを調べる。 ・それぞれの地域の自然や文化の違いとそのよさについて考える。 	<p>○写真や地図、観光パンフレット、インターネットを活用し調べさせる。</p>	<p>☆それぞれの地域の自然文化に関心を持ち調べようとしているか。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域がかかえるくらしの問題について調べる。 ・それぞれの地域の人々の願いについて考える。 	<p>○それぞれの地域がかかえる問題について説明を補足する。</p>	<p>☆それぞれの地域に暮らす人々の問題と願いについて自分の考えをもつことができたか。</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> ・国土の位置や広がり、周りの様子を調べる。 ・日本の周りの国々を調べる。 	<p>○地球儀を活用し位置や広がりを確認しやすくする。</p>	<p>☆日本の位置や周囲の国について理解することができたか。</p>
11 ・ 12	<ul style="list-style-type: none"> ・春から夏にかけての気候の変化を調べる。 ・冬から秋にかけての気候の変化を調べる。 ・地域による気候の違いを比べる。 	<p>○各地の写真資料、気候グラフを活用し地域による気候の違いに気付かせる。</p>	<p>☆日本の気候の特色について理解することができたか。</p>
13 ・ 14	<ul style="list-style-type: none"> ・日本各地や世界の国々の自然環境と人々の生活とのかかわりについて調べてまとめる。 	<p>○インターネットやパンフレット、ガイド等を活用し、言葉だけでなく図やイラストも使ってまとめさせる。</p>	<p>☆調べる観点を明らかにして、図やイラスト等を生かしたまとめができたか。</p>

7 本時の指導

(1) 4・5時－1 「沖縄県の住まいの工夫」

本時のねらい 沖縄県の家づくりを調べ、地域の気候に合わせた工夫や人々の暮らしの知恵に気付くことができるようにする。

学習内容・活動 (○)	支援 (◎) 評価 (☆)
<p>○シーサーについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 守り神 ・ 家に災いが来ないように見張っている。 	<p>◎写真資料（シーサー）を提示し考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シーサーの写真 ・ 屋根の上に乗っている写真 <p>◎シーサーがエジプトや東南アジアからの影響を受けた沖縄独特の神であることを伝える。</p>
<p>気候や風土に合わせた沖縄県の家づくりを考えよう</p>	
<p>○沖縄の古い家の特長を見付け、その良さを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石垣に囲まれている →風を防ぐ ・ 広い戸→風通しが良い ・ 低い屋根→日差しをさえぎる ・ 瓦をしっくいでおとめる →雨や風に強い ・ 防風戸→雨や風に強い ・ 雨水をためるかめ→水確保 ・ フクギやガジュマル →日差しをさえぎる 	<p>◎写真資料を提示し、自分たちの住んでいる家との違いに注目させ、その理由を沖縄の気候の特色から考えさせる。</p> <p>◎家の周りに植えたフクギという植物について知らせる。</p> <p>◎川や湖がない沖縄の地形にふれ、水不足になりやすいことを知らせる。</p> <p>☆資料から、自分の住む地域の家との違いを読み取ることができたか。</p>
<p>○沖縄の新しい家の特長を見付け、その良さについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリートづくり →風や雨に強い ・ 貯水タンク→水確保 ・ 広いベランダや窓 →風通しが良い ・ 平らな屋根→雨や風に強い ・ クーラー→涼しい 	<p>◎写真資料（新しい家）を提示し、古い家と比べて似ている点、違う点に着目させながら考えさせる。</p> <p>◎昔と今の家の涼しく住む工夫でいちばん違うと思う点を挙げさせ、電力を使う工夫に気付かせる。</p>
<p>○沖縄の人々の住まいの工夫について感想をまとめる。</p>	<p>☆気候に合わせた住まいの工夫や、人々の暮らしの知恵に気付くことができたか。</p>

(2) 4・5時－2 「北海道宗谷地方の住まいの工夫」

本時のねらい 北海道宗谷地方の家のつくりを調べ、地域の気候に合わせた工夫や人々の暮らしの知恵に気付くことができるようにする。

学習内容・活動 (○)	支援 (◎) 評価 (☆)
<p>○北海道の道路脇に置いてある棒の役割を考え、本時のめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所 ・工事中 ・進入禁止 <p>○北海道の街や寒い地方に見られる施設や標識の役割を考え、雪に対する様々な工夫をしていることを知る。</p>	<p>◎写真資料(歩道車道分岐指標)を提示し考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積雪に対する工夫の一つであることをおさえ、北海道の寒さや雪に対するそのほかの工夫に目を向けさせる。 <p>◎写真資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ①道路標識 ②縦型信号 ③消雪パイプ ④流雪溝
<p>気候や風土に合わせた北海道宗谷地方の家の工夫を考えよう</p>	
<p>○北海道では、どのような家の工夫がなされているか、自分たちの地域との異同も照らし合わせながら絵や写真を見て考える。</p> <p>○新旧の家を比較し、それぞれの工夫や、エネルギーの使い方を考える。</p> <p>○北海道の人々の住まいの工夫についてまとめる。</p>	<p>◎住まいの工夫をまとめたイラストや写真資料を提示し、自分たちの地域と比べさせながら、それぞれの工夫について考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①二重玄関 ②大きな灯油タンク ③二重窓 ④傾きの大きな屋根 ⑤壁や床の断熱材 ⑥水道の水抜き栓 ⑦屋根の融雪設備 <ul style="list-style-type: none"> ・古くからある工夫と新しい工夫に気付かせ、エネルギーを使う工夫が取り入れられていることにもふれる。 <p>◎人々の暮らしの知恵について学習を振り返りまとめさせる。</p> <p>☆資料から、自分の住む地域の家の違いを読み取ることができたか。</p> <p>☆気候に合わせた住まいの工夫や、人々の暮らしの知恵に気付くことができたか。</p>